



## 新屋幼稚園の取り組み

# おいしい体験が いっぱい!!



園長 中島好美  
園児 52人

「教育のひろば」とは  
各学校や幼稚園の特色ある取り組み  
を紹介するコーナーです。  
編集委員は、教育委員会の広報委員会  
に所属する各学校や幼稚園の教員です。

新屋幼稚園では3年前から、いろいろな野菜を植え成長を楽しみながら世話をすることを通して、作物の恵みに感謝の気持ちをもち、野菜を味わえるようにすることを目的として子どもたちと畑作りをしています。

毎年、年長児が相談をして野菜や果物を植え育てています。天候などの影響で失敗したり、思いのほか大豊作になったりと、一喜一憂しながら収穫しています。

今年度はラディッシュ、パプリカ、ナス、キュウリ、ピーマン、ミニトマト、タマネギ、ゴーヤ、カボチャ、ジャガイモ、スイカ、メロン、枝豆、綿などを育てました。

### ●年少・ひよこ組の様子

玄関横に植えてあるスイカやメロンの実が大きくなるのを毎日、楽しみに登園していました。いよいよ大きくなったスイカを食べるとき、「なくなっちゃった



↑初めてのタマネギ収穫体験  
←採れたてのラディッシュ

ね「また、大きいのできるかな」と、思いを寄せながら甘いスイカを食べました。  
年長児が育ててくれた、野菜や果物を一緒に収穫して喜びを感じることもできました。野菜が苦手な子どもたちも園で採れた野菜を食べてみようとする姿が見られます。秋にサニーレタスの種をまき成長を楽しみにしています。

●年中・かなりあ組の様子  
自分たちで植えたラディッシュの種が芽を出すのを心待ちにし、最初は、「まだ何もでてこないね」と、少し寂しそうなお子たち。

数週間後、芽が少し顔を出す、「みてみて！できてきた！と、うれしそう。その日からは、「早く大きくなれないかな」と、野菜の収穫を楽しみに登園する姿が見られるようになりました。

●野菜の収穫をしている

年長児にあこがれて、様子を見に行ったり、「これもいいんじゃない？」「あ、虫に食べられてるー！」と、興味津々。そのときに「とってみる？」と年長児が優しく声を掛けてくれて、「うん！」と、うれしそうにお手伝い。部屋に戻ると、得意



みんなで楽しくお手伝い

## 自立 十歳のころ

人間には、一生のうちに何度かシフトチェンジをする時期があり、その一つに、十歳のころがあげられます。十歳というのは、子どもが自立していく上での大きな節目です。

自立は、「ひとりで立つていくこと」で、かっこいいけれど大きな不安も伴います。

それまで平気でひとりで寝ていた子が、急に「お母さんと一緒に寝たい。」と言い出すことがあります。

「ああ、そう言うとき、ああ、そう。」と言つてやれば、そのうちすぐに不安な気持ちは抜けてしまいます。子どもは、お母さんという後ろ盾を確かめて、安心して次のステップに行けるのです。

ところが「今までちゃんとやっていたのに何言ってるの。」と突き放してしまうと、不安の方が大きくなってしまい、時には、ノイローゼの症状が出ることも

## 教育相談室

◆問合せ・相談申込  
学校教育係  
☎74-3131  
内線511

あります。

例えば、先端恐怖症になり、「本のページをめくるときに、紙の角が目に入ってくるような感じがして怖くて勉強できない。そのまま親に言えない」と、表面上は何ともないのに成績だけが急に下がる。」などです。

子どもは、自分の心の中をうまく言語で表せないで、症状になつて出てくるのです。こんなときは、子どもとちよつと遊んでやるとすつと元通りになります。

●親になると、子どもの成長は、どうし

ても右肩上がりな直線的なものと考えてしまいがちです。でも、実際に子どもが成長するということは、下がっては上がり、上がっては下がり、とジグザグにいくものなのです。ジグザグで下がったときに、親が悠々としてくれたら、子どもも生きやすいです。放っておくのではなく、気にかけてどっしりと構えていたいです。

### ●年長・つばめ組の様子



いっぱいとれたよ!

自分たちで育てた野菜を水くれば、数えたり、どんな味にしてもらうのか、誰が食べるのか相談したりしながら、園長先生のごころに調理をお願いしてきました。

その中で、ミニトマトに塩を振りかけて食べるのではなく、砂糖を振りかけて食べてみたいとの意見が出て、早速みんなで食べてみることにしました。すると、フルーツトマトのように甘くておいしくなることを発見し、家庭でもリクエフトをして食べる子もいるなど、味わい方にも変化が見られるよつになつてきました。

●野菜の収穫の終わりに、味付けへの注文も増え、毎回楽し



野菜を並べて数えたよ!

みにながら喜んで食べる姿が見られました。  
また、園庭に植えてあるアンズはジャムにしてもいいパンに塗って食べたり、ザクザクや柿は収穫の時期を見計らい、みんなで味わったりしました。昨年食べて味を知っている年長児は、「もうそろそろ食べられるんじゃない」と遊びながらザクザクや柿を見て言っていたこともあり、何度もおかわりして食べていました。  
秋になり、冬に食べられる野菜は何かあるのか調べ、収穫して空っぽになった畑に新たに野菜の種を植えました。  
四季折々の野菜を植え、成長を楽しみにながら、収穫し味わっている子どもたちです。